

「情報通信月間」中国総合通信局長表彰

1 個人

野田 哲夫 様

(国立大学法人島根大学 名誉教授)

中国情報通信懇談会地域情報化部会長として、地域情報化の推進に取り組むなど、中国地域における情報通信の普及・発展に多大な貢献をされました。

矢澤 利弘 様

(広島県公立大学法人県立広島大学 名誉教授 (学校法人愛知大学 教授))

中国地方電気通信消費者支援連絡会の座長を務め、中国地域の電気通信分野における消費者利益の向上に多大な貢献をされました。

2 団体

鳥取県 様

(代表：知事 平井 伸治 様)

電話リレーサービスの地域登録を活用し、聴覚障害者の皆様が音声電話を利用しやすい環境を構築するなど、音声電話サービスの利便性向上に多大な貢献をされました。

松江市 様

(代表：市長 上定 昭仁 様)

まつえの子育て AI コンシェルジュの導入など、ICT の利活用を通じた地域社会の課題解決に取り組むとともに、中国総合通信局等が主催する ICT Expo 等の展示会の共催団体として、その運営に尽力するなど、地域の情報化に多大な貢献をされました。

島根県立松江工業高等学校 電子科 様

情報通信技術に関する教育に尽力し、工事担任者の養成に積極的に取り組み、多くの有資格者を社会に送り出すなど、ICT 人材の育成に多大な貢献をされました。

一般社団法人広島県情報産業協会 様

(代表：会長 上田 康博 様)

デジタルインフラの海外展開支援事業を積極的に推進したほか、長年にわたり広島県内の情報通信産業の振興や発展に向けた活動を行うなど、地域の情報化に多大な貢献をされました。

株式会社SC鳥取 様

（代表：代表取締役社長 塚野 真樹 様）

青少年がインターネットを安心・安全に利用するための啓発動画を試合会場にて放映するなど、青少年の ICT リテラシーの向上に多大な貢献をされました。

株式会社サンフレッチェ広島 様

（代表：代表取締役社長 久保 雅義 様）

青少年がインターネットを安心・安全に利用するための啓発動画を試合会場にて放映するなど、青少年の ICT リテラシーの向上に多大な貢献をされました。

笠岡放送株式会社 様

（代表：代表取締役社長 枝木 亮大 様）

スマートフォンアプリ「ゆめのわ」を自社で企画・開発し、地域連携の促進や情報循環の加速を図ることにより、地域の情報化・活性化に多大な貢献をされました。

Kビジョン株式会社 様

（代表：代表取締役社長 峰 圭一 様）

映画を通じて地域情報の発信に取り組むとともに、地元中学校への撮影指導を行うなど、映像コンテンツ製作や人材育成を通じて地域の情報化に多大な貢献をされました。